

令和6年度 伊志田高校不祥事ゼロプログラムの検証等

○ 課題・目標別実施結果

課 題	目 標	実施結果と目標の達成状況
(1) 法令遵守意識の向上	服務について正しく理解し、事故を未然に防止する。 公務外での非行を未然に防止する。	12月の不祥事防止会議で管理職が講師となり、事例により服務について説明をし、学校の信頼を築くことについて、確認をした。
(2) 職場のハラスメントの防止	すべてのハラスメントについて全職員が理解し、ハラスメントのない職場環境をつくる。	1月に資料を配付し、管理職より説明をするとともに、年2回全職員の面談を実施し、厚生・公平な職場づくりについて、全職員で気を配るように伝えた。
(3) 生徒に対するわいせつ・セクハラ行為の防止	職員一人ひとりがわいせつ・セクハラ行為の未然防止について当事者意識を持って取り組み、決められたルールを順守し、生徒に対するわいせつ・セクハラ行為を行っている職員はゼロにする。	10月の不祥事防止会議で、生徒指導グループが講師となり人権全般について研修を実施した。自分で意識していなくても相手が不快に感じることがあることなど、共通理解を図った。
(4) 体罰、不適切指導の根絶	部活動や教科指導等での体罰、不適切指導の発生を未然に防止する。	11月の不祥事防止会議で、生活指導グループが講師となり、問題・解答・解説形式で事例をもとに体罰、不適切指導について職員全体で考え、共通理解を図った。
(5) 入学者選抜に係る事故防止	入学者選抜に係る事故を未然に防止する。	公正な入学者選抜実施にむけ、12月の不祥事防止会議で、入学者選抜担当職員より、過去の事例をもとに、事故防止の徹底を図った。また、シミュレーションを通して全教職員の理解を深め、特に初任や入選経験の乏しい職員には個別に研修を行い、事故防止の徹底を図った。
(6) 個人情報管理・情報セキュリティ対策に係る事故防止	個人情報の流失、及び携帯電話、電子メール、SNS等の不適切使用を未然に防止する。	5月の不祥事防止会議で、研究開発グループが講師となり、個人情報の適切な取扱いや情報セキュリティについて、基本的な手法やルールについて共通理解を図った。
(7) 交通事故防止、酒酔い、酒気帯び運転を未然に防止	交通事故、酒酔い、酒気帯び運転を未然に防止する。	お酒の席が多くなる12月に資料を配付し、「飲酒」、「酒気帯び運転」、「スピード違反」等の事例に加え、通勤や私用の運転の場合も十分注意するよう全職員に注意喚起し、事故・不祥事の未然防止を図った。
(8) 業務執行体制の確保等	情報共有を密にし、業務協力体制を強固なものにする。 相互チェック体制を機能させ、声を掛け合える職場にする。	業務の悩みやストレスを一人で抱え込まないように、面談や声掛けを通して日頃より信頼関係を築くことができるように努めた。また、衛生委員会を通して、働き方改革についても、方策について提案をした。
(9) 財産事務の適正執行	公費、私費において、適正に経理処理を行う。	7月の不祥事防止会議で、管理運営グループリーダーが講師となり会計担当だけでなく、職場全体で私費会計基準に則った会計処理を確認した。

○ 令和6年度不祥事ゼロプログラム全体の達成状況と令和7年度に取り組むべき課題
(学校長意見)

「令和6年度伊志田高等学校不祥事ゼロプログラム」については、資料を読むだけの研修でなく、各グループがそれぞれ工夫を凝らした研修を実施し、職員全体が、例年以上に自分事としてとらえ、事故・不祥事を防止することができた。

令和6年度については、引き続き、法令遵守意識やコンプライアンスを向上させることについて重点的に取り組むとともに、高い倫理観を持ち、「不祥事ゼロ」を目指したために、職員一同取り組んでいきたい。